

【心理学研究科心理学専攻（英語）解答例と出題意図】

【解答例】

1

問 1 : B

問 2 : A

問 3 : D

問 4 : C

問 5 : その人は、高い確率で、揺るがないばかりか、自分の信念の正しさを以前にも増して確信するようになる。実際、その人は、他の人々を説得し、自分の考えに改宗させることに新たな熱意を示すことすらある。

問 6 : これらの条件のうち最初の 2 つは、信念を変えることに抵抗感を抱かせるような状況を特定するものである。一方、第 3 と第 4 の条件は、信者に信念を捨てさせる強力な圧力をかける要因を示している。

問 7 : 自分の強い信念に反する出来事が起きたとき、それによって信念を捨て去るか、それとも信念をさらに強化して他者を改宗させるかを分けるのは、その信念を持つ人がどのような集団に属しているかと関係している。social support とはその人の信念が集団内で支持されている程度を意味しており、信念が孤立しているならば前者の結果が、集団内で強く共有されているならば後者の結果が出現する。

【出題意図】

1

社会心理学の態度研究において非常に大きなパラダイムを形成した認知的不協和理論に関する分掌である。問 1～4 は文意を理解しているかを確認する問題である。問 5～7 は英文読解力を確認する問題である。

2

本問題は、心理学研究科博士前期課程における研究活動および修士論文執筆に必要な英文読解力(内容理解、語彙理解、構文把握、論旨把握)を評価することを目的としている。問題文は認知心理学の研究史や主要概念について書かれたものであり、受験者が学史をふまえた心理学の基礎的知識を有していれば読解の支援となるよう意図して出題した。

問 1 : 英文全体の主題を把握し、問題文が扱う心理学の領域を適切に判断する読解力を測定する。

問 2 : 文脈および心理学の基礎的知識の理解に基づき、空欄に適切な語句を補えるかを評価する。これにより、英文の論理構造や専門用語の把握が適切にできているかを確認する。

問 3：全体の内容理解にかかわる重要な英文を正確に理解し、日本語で適切に表現できるかを測定する。特に、指示語の解釈や構文理解といった基礎的読解力を評価する。

問 4：論旨を踏まえ、筆者が提示する主張の理由を自分の言葉で説明できるかを評価する。情報抽出、要約、因果関係の把握といった高度な読解能力を評価する。